



いしぞね たぎりちゅうおう
伊南バイパス(石曾根交差点～田切中央交差点)

開通3ヵ月後の整備効果について

～救急支援・交通事故の削減効果がみられています～

1. 概要

いしぞね たぎりちゅうおう
国道153号伊南バイパス(石曾根交差点～田切中央交差点)の延長0.8kmが平成26年11月29日に開通しました。

今回、開通3ヵ月後の整備効果についてとりまとめましたので、お知らせします。

整備効果

効果① 救急搬送時における救急医療活動の支援

効果② 線形不良箇所の回避による交通事故の削減

効果③ バイパス沿線への移転・新規出店

効果④ 飯島町内の通学時の安全・安心に寄与

2. 資料

別紙1:伊南バイパス 開通効果①

別紙2:伊南バイパス 開通効果②

別紙3:伊南バイパス 開通効果③

別紙4:伊南バイパス 開通効果④

参考1:伊南バイパスの事業概要

3. 記者発表資料配布先

長野県庁会見場、上伊那地方事務所・伊那記者クラブ、駒ヶ根市役所記者クラブ

4. 問い合わせ先

○国土交通省中部地方整備局飯田国道事務所 調査設計課長 くさの まさふみ 草野 真史
TEL:0265-53-7200 FAX:0265-53-7210

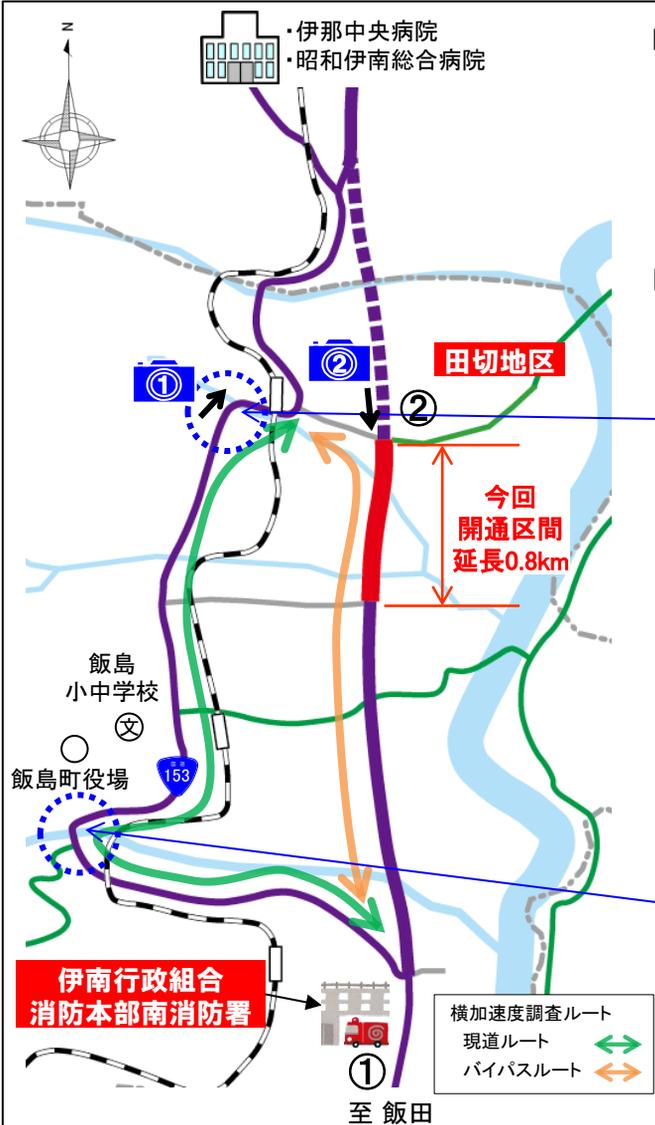
○長野県伊那建設事務所 維持管理課長 いしだ よしなり 石田 良成
TEL:0265-76-6852 FAX:0265-76-6850

○飯島町役場 建設水道課長 ししば まもる 紫芝 守
TEL:0265-86-3111 FAX:0265-86-2051

伊南バイパス 開通効果①

救急搬送時における救急医療活動の支援

■救急活動における所要時間の短縮、急カーブ区間の回避による救急車内での安定した処置ができるなど、救急医療活動の支援に繋がっています。

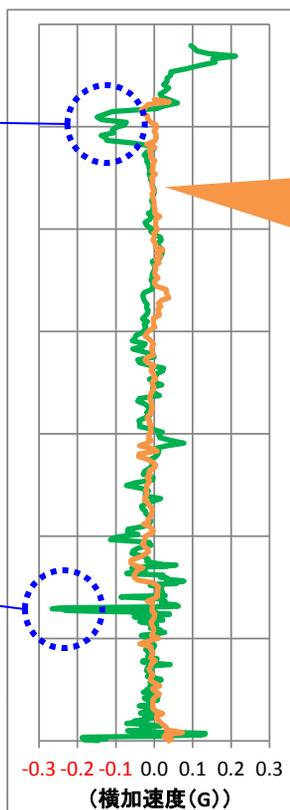


■消防本部南消防署から田切地区(①→②)の所要時間



※H26.12.3 プローブ調査結果(7時~19時の平均値)

■横加速度調査結果



バイパス開通により、患者への負担が懸念される横加速度が大きく減少

「曲線走行時に掛かる横Gが0.15G以上あると、最高血圧の変動量が10mmHgを超過し、搬送患者へ影響を与える可能性がある」

(「地域の医療を支援する道路構造の分析・評価」第27回日本道路会議)

※H26.12.3 横加速度調査結果
(国道153号下り線を規制速度にて走行)



【伊南行政組合消防本部南消防署の声】

- ・患者の負担は確実に軽減されていると感じる。
- ・田切地区への消防活動はしやすくなった。前回開通と合わせ、3~4分程度短縮していると思う。
- ・現道のカーブ区間では処置がしにくかった。バイパスでは安定して処置が行えるようになった。

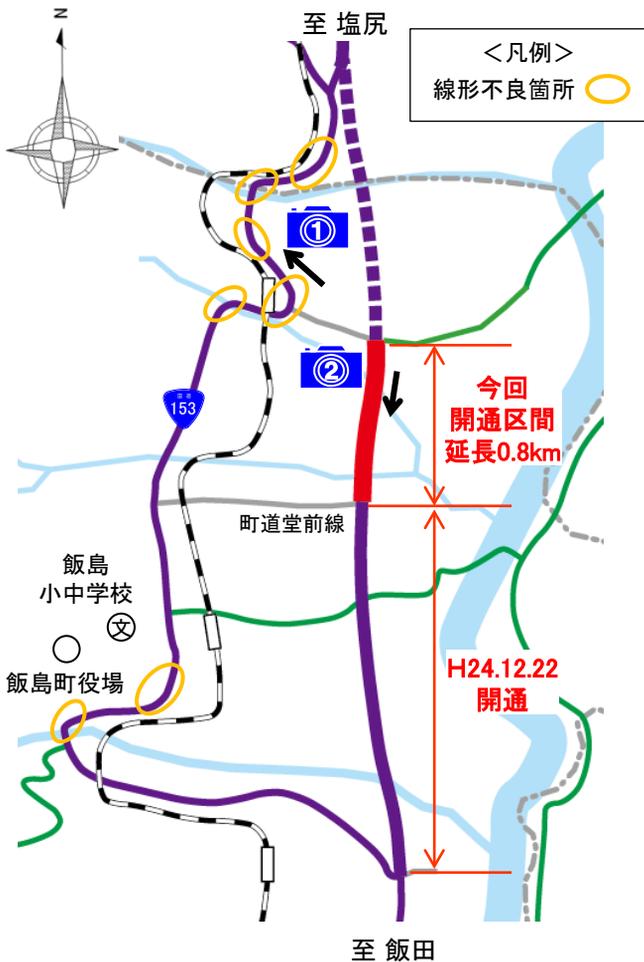


伊南バイパス 開通効果②

線形不良箇所の回避による交通事故の削減

■これまで国道153号飯島町内では、大雪により、日常生活や救急活動に大きな影響を与えていました。今回の開通により線形不良箇所を回避することができ、冬期の交通の安全・安心が向上しました。

■H24.12.22の伊南バイパス(本郷～町道堂前線)開通以降、伊南バイパスでの交通事故(人身)は、いまだ**0件**であり、冬期はもとより年間を通して、事故削減効果がみられます。



■国道153号現道の事故状況



(写真:H20.2.6撮影)

■伊南バイパスの積雪状況



(写真:H27.1.30撮影)

道路利用者の声（地域住民）

時間が短縮し、雪が降ってもスリップの心配なく、安心。
(50代男性)



道路の形状が改善され運転も安心して快適に通勤している。
(60代男性)



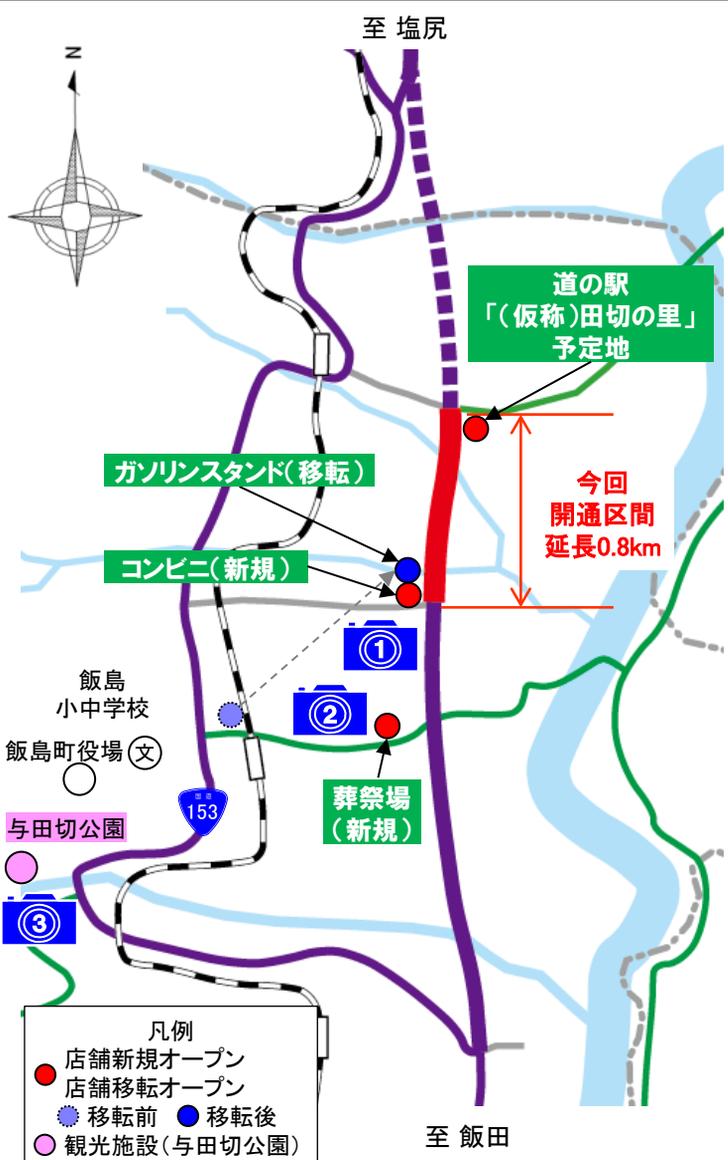
雪が降ったとき事故の心配もなく、安心して通勤できる。
(30代女性)



伊南バイパス 開通効果③

バイパス沿線への移転・新規出店

■開通を機に、バイパス沿線にコンビニや葬祭場の新規オープン(ガソリンスタンドの移転オープン)がされています。また、道の駅「(仮称)田切の里」が平成28年度にオープンする予定です。



伊南バイパス沿いにガソリンスタンドが出店できる用地があったことから、交通アクセスが比較的良好な伊南バイパス沿いに開店することとした。
(ガソリンスタンド関係者)



伊南バイパスが全線開通を見越して現在の箇所を選定した。
(葬祭場関係者)

重点「道の駅」

たざり さと
(仮称) 田切の里

地域創生拠点として道の駅「(仮称)田切の里」が平成28年度にオープンする予定です。「(仮称)田切の里」は重点「道の駅」に選定されました。

- 主な施設(予定)
- 地域福祉：高齢者への宅配・安否確認サービス
- 産業振興：特産品の加工販売を中心に産業活性化
- 観光総合案内：総合情報ステーション設置、コンシェルジュ配置



道の駅では、特産物販売所を計画しており、駒ヶ根や伊那方面から飯島町への来訪者が増加し、道の駅と伊南バイパスができることにより、交流が活性化することを期待している。(地元農家)



与田切公園(夜桜)

伊南バイパス 開通効果④

飯島町内の通学時の安全・安心に寄与

- 開通3ヵ月後、飯島町内を通過する国道153号現道交通量の約5割以上がバイパスに転換し、大型車は、約6割減少しました。
- その結果、飯島町内の通学時の安全・安心に寄与しています。

<国道153号周辺の交通状況の変化>

■伊南バイパス(本郷中央交差点～田切駅東交差点) 開通前後の交通状況の変化



■国道153号現道の交通状況写真(開通前後)



(開通前写真:H26.11.12撮影)

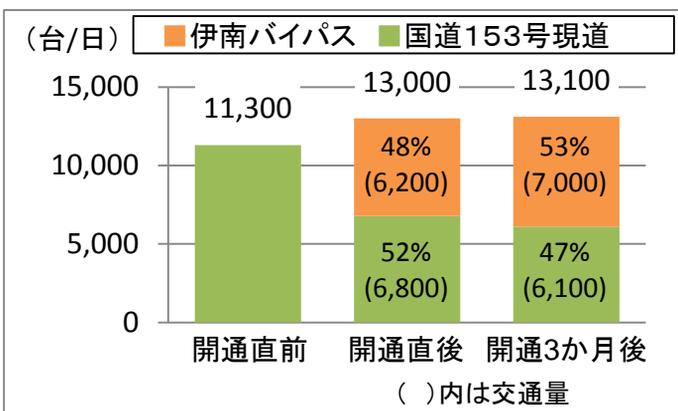


(開通後写真:H27.1.8撮影)

・信号機のない横断歩道を安心して渡ることができるようになった。(小中学生)



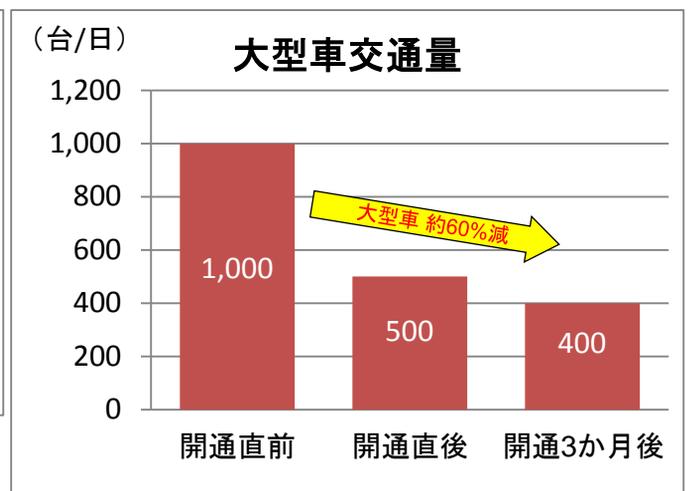
■開通前後の交通量の割合の変化



<調査データ>

- 開通直前: H26. 11. 26 (7:00) ~ H26. 11. 27 (7:00)
- 開通直後: H26. 12. 3 (7:00) ~ H26. 12. 4 (7:00)
- 開通3ヵ月後: H27. 2. 25 (7:00) ~ H27. 2. 26 (7:00)

■開通前後の国道153号現道の交通量の変化

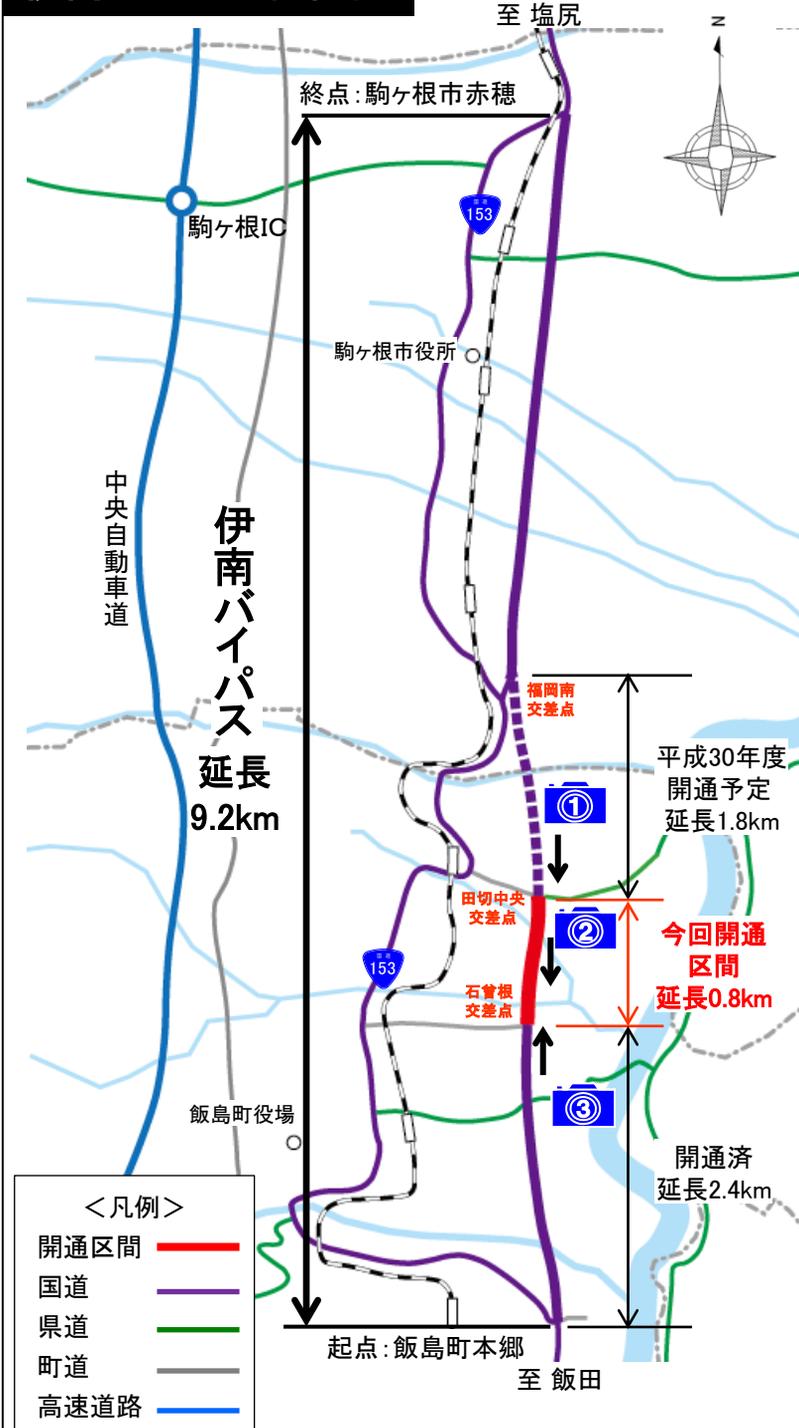


伊南バイパスの事業概要

■伊南バイパスの石曾根交差点～田切中央交差点までの区間(約0.8km)が、
平成26年11月29日(土)に開通しました。

■田切中央交差点～福岡南交差点までの区間(約1.8km)については、平成30年度の
全線開通に向け、引き続き整備を進めてまいります。

伊南バイパス位置図



■写真①: 今回開通区間終点
(田切中央交差点付近)



■写真②: 今回開通区間中間点
(新郷沢橋付近)



■写真③: 今回開通区間起点
(石曾根交差点付近)



(写真は3枚ともH26.12.3撮影)